青木美智男先生の思い出

寄稿・宮田直樹さん（平20文・米沢市教育委員会文化財担当）

▶宮城県亘理町で開かれた東北近世史サマーセミナーでの青木美智男氏（前列左から2人目）＝2008年8月、前列左端が筆者

青木美智男先生の最後のゼミ生の一人として、卒業後も先生からご指導をいただきました。歴史学の道を志すことになったのは、先生のおかげです。

青木先生は近世史研究の第一人者であると同時に、怖い先生として有名でした。教室に怒声が響き、ゼミ生は何度震え上がったことでしょう。しかし、実は面倒見がよく、厳しい言葉の裏にはいつも学生を思う温かさがあることは、すぐ分かりました。

先生の思い出で特に印象に残っているのは北陸での史料調査合宿です。この調査は、北前船で有名な福井県南越前町（旧河野村）で年3回、5日間泊まり込みで朝から晩まで古文書を整理して目録を作成します。近世史研究の基本を身につける合宿です。慣れない古文書に四苦八苦する私たちとは対照的に、青木先生はいつもいきいきしておられました。古文書を熱心に解読し、面白い史料を見つけると丁寧に解説してくれました。

合宿中は早起きして海岸で釣りをし、3食ともおいしい手料理を作って参加者に振る舞い、夜になると研究の話や昔話が尽きません。毎晩欠かさず奥様に電話する先生に、意外な？　愛妻家の一面を垣間見ました。

怒鳴られ 励まされ

人間味あふれる温かさ

青木先生といえば、厳しさよりも人間味あふれる温かさが思い出されます。図書館や古文書実習室で必ず声をかけてくださり、その後は先輩たちと駅前の店に繰り出しました。進路で悩んでいた時は「お前は外へ出て頑張れ」と背中を押され、先生の後輩として東北大学大学院で学んだのは私の誇りです。

就職後も大学や研究会でお会いするといつもアドバイスや叱咤激励をいただき、励みにしてきました。青木先生には誰もが同じ思いを持っているのではないでしょうか。先生の言葉や行動には、人を引きつけ、やる気を起こさせる大きな力がありました。

あんなにお元気だったのに、突然の訃報は本当にショックでした。しかし、そこで立ち止まっていると、また怒声が飛んできそうです。「いいか、宮田。もっと頑張れ！」。そんな声をまだまだ聞きたかったです。

＝◇＝

青木美智男氏（元文学部教授、専修大学史編集主幹）は7月11日、誤嚥（ごえん）性肺炎のため死去された。76歳。

専大校友を訪ねて

魚沼にUターン　銘酒の販路拡大担う

㈱八海山執行役員
営業企画商品開発室長
中俣（なかまた）　善也（よしなり）さん（平4商）

銘酒「八海山」は、老若男女問わず幅広いファンを持つ新潟を代表する日本酒のひとつ。地酒ブームの火付け役となり、十数年前までは入手し難い「幻の酒」と言われた。

「八海山」のお膝元、新潟県南魚沼市に生まれ育った。商学部で学んだ専大時代は、東京・新宿にある百貨店の玩具売り場でアルバイトにいそしんだ。

「受験を終えて入学間もなく燃え尽き症候群になってしまって。このままではいけない、懸命に取り組む何かを見つけたいと思いました」

職場の人間関係に恵まれ、「人に使われ、人を使う際の機微や顧客をつかむコツを探りました」。殿村晋一教授（現名誉教授）のゼミで学び、サークルは広告研究会で雑誌を作った。

「悔いのない4年間でした」

卒業後も迷わず「デパートで」と、新宿の別の百貨店に就職。入社して5年、婦人雑貨売り場を任され、百貨店勤務が天職のように思えた矢先、30歳を目前にして退職し、故郷に帰ることを両親と約束していましたから。仕事が面白くて、このままでは東京を離れられなくなると思っての決断」と振り返る。

父と先代の社長が知り合いという縁から地元の八海醸造に就職。持ち前の社交性と柔軟性で、畑違いの商売にもすぐ溶け込んだ。

「内心、会社と自宅を往復する毎日かなと思った」のは大違い。営業担当として営業所新設で、東京勤務1年、大阪勤務5年。百貨店時代に培った営業センス、人脈を生かし販路拡大の一翼を担った。

「八海山」には、進取の気性と、杜氏（とうじ）や製造から経営に至るまで、全て品質を基準に取り組む志が貫かれる。「最も力を入れているのは大吟醸ではなく普通酒（清酒、本醸造）。大吟醸の造りを応用し、高級酒並みの品質でシェアも一番。まず普通酒をお勧めします」。根っからの営業マンだ。

宮岡教授が講演

専大支援の会

本学卒業生とその保護者有志を中心に、東日本大震災で被災した学生の支援を目的に活動する「専修大学支援の会」（青木みどり代表幹事）の第3回イベントが9月8日、神田キャンパスで開催された。会員49人が参加し、宮岡孝之法科大学院教授の講演を聴いた。

宮岡教授は、司法試験合格までの苦労話と弁護士、㈶専修大学理事としての仕事について話した。終了後、懇親会が催され参加者同士が親睦を深め、交流の輪を広げた。

参加費の一部は支援金として本学に寄付された。

▶黒門の前で記念撮影

専修人の新しい本

<校友>

『データを武器にする 勝つための統計学』

渡辺啓太著

コートエンドから対戦相手の攻撃パターンの傾向や対策を分析して選手を支え、ロンドン五輪で28年ぶりに女子バレーボールに銅メダルをもたらした渡辺啓太さん（平18ネット情報、全日本女子バレー情報戦略担当アナリスト）。

日本のバレー界の情報戦略の中核を担う渡辺さんが、ビジネスマン向けのデータ分析書を出版した。いかに貴重なデータを「武器化」し、結果につなげるかをテーマに、「グラフを分かりやすく見せる」「あえて手渡しが大事」など、具体的な手法、エピソードを交えながら解説している。

（ダイヤモンド社・本体1500円＋税）

読者プレゼント

本書を5人にプレゼントします。ご希望の方は、①郵便番号・住所・氏名・電話番号・学生は学籍番号／校友は卒業年、学部／育友はご子女の学部、学年②今号で印象に残った記事／本紙で取り上げてほしいテーマ／本紙の感想をご記入の上、ご応募ください。

応募者多数の場合は抽選となります。発表は発送をもって代えさせていただきます。11月5日必着。

▽はがき：〒101－8425（専用郵便番号）専修大学広報課　NS『データを武器にする』係

▽Email：koho@acc.senshu-u.ac.jp 件名に「NS『データを武器にする』希望」とお書きください。

※お預かりした個人情報は発送のみに使用いたします。頂いたご意見は、今後の編集の参考にさせていただきます。

校友会からのお知らせ

〈行政書士鳳会総会〉▽10月22日（火）18時30分開会▽JR市ケ谷駅徒歩2分「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」問中尾聡氏☎03・3257・0822

〈学内支部総会〉▽10月25日（金）18時30分開会▽神田キャンパス15階「報恩の間」問臼井勝彦氏☎044・911・1254（生田キャンパス教務課内）

〈江戸川支部総会〉▽10月26日（土）18時開会▽JR小岩駅北口徒歩5分「小岩ニューオークラ」問島村幸也氏☎090・2236・7671

〈三八会卒業50周年記念総会〉▽11月1日（金）17時30分開会▽小田急線新百合ヶ丘駅徒歩3分「ホテルモリノ新百合丘」問内藤博氏☎044・922・4313

〈流通研究OB会総会〉▽11月7日（木）16時開会▽神田キャンパス8階A問藤原勇一氏☎03・3257・2912昭和産業㈱

〈村上・岩船支部設立総会〉▽11月9日（土）17時開会▽JR村上駅徒歩20分「割烹吉源」問本間清氏☎0254・77・2142

〈珊瑚会総会〉▽11月12日（火）～13日（水）▽JR別府駅から送迎バス「杉乃井ホテル花館」問住田信治氏☎0143・486・1879

〈静岡県支部連合会総会〉▽11月16日（土）15時開会▽JR静岡駅徒歩5分「クーポール会館」問土屋孝男氏☎055・923・6419

〈二鳳会総会〉▽11月16日（土）18時開会▽日比谷線入谷駅すぐ「三富」問新堀明氏☎03・3395・7427

〈仙台支部総会〉▽11月16日（土）18時開会▽JR榴ヶ岡駅すぐ「仙台サンプラザホテル」問今野四郎氏☎090・6258・2938

〈市川支部総会〉▽11月17日（日）16時開会▽JR市川駅北口徒歩3分「市川グランドホテル」問宮崎実氏☎090・6039・8908

第8回校友会ワイン大学

泡～スパークリングワインについて～

▽日時＝11月22日（金）18時30分～
▽場所＝神田キャンパス1号館15階報恩の間
▽講師＝㈲シン・トレーディング代表取締役・江畑進一氏
▽対象＝学生（20歳以上）、教職員、校友、賛助会員、育友、一般
▽会費＝学生2000円、その他4000円
▽定員＝110人（先着順）

アドニス65号刊行

校友会誌「アドニス65号」が刊行された。

矢野建一新学長からのあいさつ、「特別対談～日本の危機」では正村公宏名誉教授と高田和男日本テレビ報道局解説委員（昭45文）の対談、「われら専修人」ではプロスキーヤーの小野塚彩那さん（平22商）、「体育会監督インタビュー」ではヨット部の柄澤康善監督（昭60経済）、「スポーツを通して社会貢献・地域貢献座談会」では、中津川栄作さん（平2商）、佐々木裕司さん（平20経営）、岩崎哲久さん（昭62法）を紹介する。